

令和5年度 横浜市 長浜ホール 指定管理者 完了確認表

評価項目			令和5年度計画		実施状況		評価	
I 文化事業		指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
1 歴史的建造物の魅力を発信するとともに、文化芸術を媒介に地域の力を結びつける(使命2-1,2)	1	建築物や地域の歴史・魅力を発信する事業を開催する	□野口英世フェア	1回	1回	野口英世の誕生月に開催。横浜長浜検疫所と野口英世の歴史などを紹介。NPO法人野口英世よこはま顕彰会共催。(公財)野口英世記念会協力。	【成果】 ・野口英世フェアについては、約200人の来場があり、ホールではラテンジャズコンサートを実施し、75名入場した。 ・野口英世博士への手紙コンテストでは、母から声の手紙展示し、野口英世博士と長浜検疫所のパネル展も併せて展示した。初めての来場者も多く、今後のイベント集客に期待できる成果となった。 ・生涯学習フェスティバルについては、参加者も含めて500名以上の来場者があった。普段当館を使用されない団体に参加して頂き、今後練習やコンサート利用に繋がるよう実施した。 【課題】 ・野口英世フェアは毎回好評であるが、まだ認知度が低く今後の課題として媒体との協力体制を強化することを考える。 ・生涯学習フェスティバルでの金沢区の協力が消極的になっていると感じられるため、今後は自力で参加者の募集を考えることも検討している。	【評価できる点】 ・長浜ホールが歴史的な建物であることを発信するために、野口英世博士に関係するフェアや手紙コンテストを実施しました。野口英世が生まれた地である福島県猪苗代観光協会と連携し、金沢区内の小学生へ向けた事業を実施していることは地域の歴史を知るとともに金沢区が野口英世博士が関係する施設があるということを発信している取組であり、評価できます。 ・夏休み子ども体験教室では、野口英世博士への手紙コンテストよりも参加できる対象年齢を広げ、多くの小学生たちに野口英世博士について、歴史に触れ、体験型の教室を実施しました。この取組についても、金沢区の地域の歴史を発信した取組であり、評価できます。 【更なる取組を期待する点】 ・野口英世博士は有名な医学博士であるものの、施設への認知度が低いということなので、WEB媒体での広報を広げたり、SNSでの発信を含め、広報方法を改めて検討してください。
			□野口英世博士への手紙コンテスト	1回	1回	福島県猪苗代観光協会との協力実施事業。金沢区内の小学校6年生対象に夏休み自由課題としてコンテストを実施。応募総数55件。		
			□夏休み子ども体験教室	1回	1回	夏休み期間中に小学生対象の体験教室。34名参加。野口英世博士の歴史にもふれたつつ、電子顕微鏡でゾウリムシの観察や手作り顕微鏡で身の回りの物を拡大して観察など夏休みの自由研究事業として実施。		
	2	地域の施設、団体と連携した事業を開催する	□夏休みファミリーコンサート	1回	1回	乳幼児から入場可能な親子コンサート。96名入場。スチールパン・ピアノ・タップダンスなどを動かし、ステージと客席が一体となるコンサートを実施。		
			□生涯学習フェスティバル	1回	1回	金沢区に登録された活動団体(町の先生)を招待して各種コンサートをはじめ展示会、セミナー、等を開催。普段利用の無い団体に長浜ホールの紹介も兼ねた地域貢献として実施。金沢区役所協力。		
2 多様な市民の活動を支援するとともに、次世代を担う文化創造の担い手を育む(使命3)	1	人材育成をにらんで良質な文化芸術の鑑賞機会を創出する	□みず色の風コンサート	4回	4回	クラシックを中心としたコンサート。ヴァイオリンを中心とした毎回多様なゲストを呼び、上質な音楽を提供。	【成果】 ・みず色の風コンサートは4回とも8割強の入場が確認された。 ・ゴスペルワークショップ参加者も23名となり、活気あるワークショップとなっていることが確認された。 ・長浜ホール感謝祭では、当施設をご利用の個人・団体の参加者同士の交流も深まり新しい展開になっている。また、個別に要望やご意見など聞く機会として活用している。 【課題】 ・みず色の風コンサートやTABUNOKIミュージックテラスなど長年にわたり開催しているが固定客の高齢化が今後の集客に影響すると思われるため、今後どのように開催するか検討の必要がある。 ・学校プログラムの依頼内容が芸術系だけで音楽主体のホールとしてはコーディネートが難しかったが、今後は幅広いジャンルで対応していきたい。	【評価できる点】 ・コンサートイベントについては、多くの入場者が確認できており、音楽鑑賞を提供する機会を創出した取組であり、評価できます。 ・ゴスペルコンサートや長浜ホール感謝祭において、施設利用者という共通点を利用した交流を生んでおり、幅広い世代の年齢層の方が文化を通じて活動していることが確認できます。 【更なる取組を期待する点】 ・来館者が高齢者であり、今後の集客方法について、どのように実施するか分析が必要です。また、地元だけでなく、近接する市内地区や市外(近接している自治体)へアプローチする方法も含め検討してください。
			□夏休みファミリーコンサート(再掲)	1回	1回	夏休み開催。子供たちが普段経験のないコンサートホールでの鑑賞。生演奏の迫力や実際の楽器の音を聞くことで音楽に興味をもってもらう。		
	2	幅広い世代、年齢層が参加可能なワークショップ型の事業を企画し実施する	□ゴスペルコーラスワークショップ	12回	12回	歌を歌い健康促進するとともに、人との出会いとコーラスという共同作業による連帯感ある事業。		
	3	近隣地域で活動中のアーティストによるコンサートを行い、活動を支援する	□TABUNOKIミュージックテラス	2回	2回	スウェーデンに永く生活し民族音楽を紹介しているピアニスト。ピアノと声楽や楽器によるコラボレーション、ポピュラーからクラシックまで幅広いコンサートを開催		
	4	施設を練習の拠点としている団体の発表会を行い、相互交流を図る	□長浜ホール感謝祭	1回	1回	長浜ホール施設で練習利用されている個人・団体に参加を呼びかけ、利用者に感謝を込めたコンサート		
	5	施設にゆかりのアーティストを小学校に紹介する学校プログラムにコーディネーターとして参画する	□学校プログラム	3回	3回	金沢区内の小中学校3校を対象とした音楽・美術・演劇・ダンス・伝統芸能などの課外授業活動の協力。毎年参加の学校も多くプログラム実施に期待感が高く様々なアーティスト用意し、要望に添うように企画立案を行っている。		

評価項目			令和5年度計画		実施状況		評価			
Ⅱ 施設運営		指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価		
1 文化芸術の活動と体験の場になる(使命1)	1	旧細菌検査室の適切な保存と管理	■旧細菌検査室の保存及び展示物の適切な管理	実施	実施状況	開館時、閉館時のチェック及び週3回(1日置き)の室内清掃。	【成果】 ・長浜ホール地下に展示していた旧細菌検査室の変遷を見せる展示を一部移設。野口英世等身大パネルを新調し、写真は新しくプリントして設置した。 ・貸館業務は事故もなく利用者とコミュニケーションをとり、諸室の要望など聞き職員・スタッフと共有している。スタッフミーティング時にはどのような対策を行ったかを報告している。 ・自主事業では毎回アンケートを取り、毎回70%程度の回収が出来ている。アンケートにより客席のレイアウトの変更を行い好評を得ている。 【課題】 旧細菌検査室の室温が季節に合わせて高温及び低温に変化するので時期によってはゆっくりと見学が出来ない状況。令和6年度のエアコン更新後に入口扉を開けて公開するので入口サインが重要となる。 ・長浜ホールの諸室付帯設備に経年劣化による損傷が目立ち始めている。 ・利用者の現状把握は来館時に声掛け相談を実施し、ほぼ把握しているが、利用団体の高齢化によって団体の解散や利用頻度の減少が出てきている。	【評価できる点】 ・貸館業務について、日々利用者へコミュニケーションを取り、利用者の要望などをスタッフで共有していることが確認できました。自主事業についても、毎回アンケートを実施し、来館者のお声を生かしつつ、客席のレイアウト変更を検討、実施していることは、文化芸術の体験の場を提供している施設として、評価できます。 ・業務の疑問点について、ヒアリングし、関係部署への報告や解決に向けた取組については、組織的な運営を実施していると確認ができます。 【更なる取組を期待する点】 ・歴史的建造物であるという認識から、特に旧細菌検査室については、適切な保存管理が大切です。一方で、見学しやすい環境を整えることも大切ですので、日常的にどのように運用すべきか検討してください。 ・チラシの必要印刷数を制限しながらも、来館者がコンサート実施時に別のコンサートチラシを封入することで新たな顧客の確保もできました。引き続き、新たな集客をできるよう期待しております。また、紙媒体だけでなく、WEBやSNSを活用した発信を継続的に実施できるよう期待しております。		
			□検査室の一般公開(開館日):ホールに準ずる	ホール開館日に準ずる	ホール開館日と同じ	目標どおり実施				
			□検査室の一般公開(開館時間):9:00～17:00	9:00～17:00	9:00～17:00	目標どおり実施				
	2	貸館の運営	■貸館受付は午前9時から午後9時、職員が対応	実施	実施	目標どおり実施				
			■音響・照明担当1名を配置	実施	実施	実施。舞台担当は事前に利用者との相談を行い当日はスムーズな公演を実施出来ている。				
	3	利用者の現状把握	■事業開催等で随時アンケートを実施	実施	実施	自主コンサートごとに実施				
			□利用者懇談会を開催	1回	0回	感謝祭時に実施				
			□ホール利用者を中心に利用相談を実施	週1回	週1回	利用申し込み時か一か月前に舞台担当と打ち合わせ				
			□スタッフミーティングを実施	月1回	月1回	併せて防災訓練				
	2 組織的な施設運営(様式10)	1	必要人材の配置と職能	□施設長(館長)	配置	配置			1名配置(横浜メディアアド)受付をはじめ館内の全ての業務に関係し、関係団体や対外的な行事等に積極的に参加し認知度を高めている。	【成果】 ・全ての職員は日々の業務の中で疑問点など集約し、本社及び関係部署への報告と解決に向けて業務レベルを上げている。 ・個人情報保護研修は本社と同時に先行いテスト形式で習得度を確認している。 ・年間2回全員参加で防災訓練とAED 使用訓練を行い、AEDは毎月メンテナンスを行っている。清掃業務では1日おきに担当者による清掃、併せて隔月に機械清掃を行い美化に努めている。 【課題】 ・長期勤務のスタッフ多いので固定観念で業務しないようスタッフミーティング時に注意情報共有している。 ・ホール座席については、今後クッションを改善する予定。
				□運営業務担当者1名	配置	配置			1名配置(横浜メディアアド)内部スタッフへ細かく指導を実施、新システム導入後の混乱は一切なく、利用者にも丁寧に説明をするなど相互の理解度を深めている。	
□事業担当者1名				配置	配置	1名配置(横浜メディアアド)過去の事業の洗い直しや出演者との明確な契約など、自主事業全般の効率化を量りスケジュール等職員全体が把握できるように改善している。				
□受付・事務室スタッフ6名				配置	配置	5名配置(横浜メディアアド)				
□施設の維持・管理担当者(1名)				配置	配置	1名配置(相鉄企業)毎月の全館点検を行い修繕が必要な個所を共有して軽微な修繕はその場で実施。				
□音響・照明担当者(1名)				配置	配置	1名配置(神奈川共立)利用者とのコミュニケーションが良く取れていてホール利用者からは感謝の言葉を多く頂いている。				
□清掃業務担当者(1名)				配置	配置	1名配置(相鉄企業)				

令和5年度 横浜市 長浜ホール 指定管理者 完了確認表

3 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力 (様式22)	2	主要人材の能力担保	■専門職員研修	通年	通年	長浜ホール・旧細菌検査室・野口英世に関して書籍等で研修		
			■事業制作、経理、広報、人権、コンプライアンス等の組織内研修	通年	6回	本社と共有の研修とスタッフミーティングでの話し合い		
			□個人情報保護の研修	1回	1回	本社と共有の研修		
			■日常業務におけるOJT	通年	通年	日々の業務で共有、業務分担の均等化を図る		
			□AED使用訓練	1回	1回	防災訓練時に実施(10/10)		
			□防災訓練	2回	2回	(10/10)・(2/19)実施		
			1	利用料金収入を増やす取り組み	■スタンプカードを導入してのリピーター利用率向上	実施	実施	スタンプカードの有効期間をなくし、よりカード活用がしやすくなり、新規カードの発行も増加している。
	■設備利用料金の見直し	実施			検討	設備利用料に関しては新規設備が無いので改訂はしていない。今後の課題である。		
	■要望の多い設備導入の検討と導入	実施			実施	旧細菌検査室空調・2階廊下の空調		
	■自主事業の新規企画の検討	実施			実施	予算との折り合い		
	■事業開催チラシの拠点配布	実施			実施	各施設、DM会員、自治会の掲示板		
	■ホームページでの事業告知	実施			実施	実施		
	■広報よこはま、タウンニュース等新聞メディアでの事業告知	実施			実施	広報よこはま、タウンニュース、横かな、シーサイドFM		
	■Twitter等SNSを活用しての事業告知	実施			実施	実施		
	2	その他収入を増やす取り組み			□飲料ベンダーの設置	2か所	2か所	駐車場へ2台設置予定
					□撮影ロケ地としての活用	随時	随時	プロダクション等への告知
					□企業主催のイベントとしての活用	随時	随時	
	3	配信事業	■撮影ロケ地としての魅力をホームページでアピールします。	随時	随時	新HPではイメージ写真を多用		
4	光熱費削減への取り組み	■こまめな照明・冷暖房機器の発停	随時	随時	実施。冷暖房だけには頼らず除湿器・加湿器・サーキュレーター等を活用し場内の環境を保持			
5	備品・消耗品の見直し	■必要最小限の購入にとどめる	実施	実施	備品・消耗品は必要な分だけ購入し最小限の在庫で効率よく運用。			
6	備品・消耗品関連費の削減	■他の指定管理施設との一括購入	実施	実施	系列館と協力して一括購入を実施。			

【成果】 ・自主事業はメインの出演者は決まっていて、毎回メンバー構成を変えて変化をつけている。 ・チラシの印刷部数も必要部数に制限し地元職員の近隣に配布の実施、利用者によるコンサートの終了時に来場者に配布する事で新規顧客の獲得を実感。 ・広報よこはま、タウンページ、はまなか、に加え金沢シーサイドFMでの取材広告など新たな媒体にも挑戦している。 ・その他の収入への取り組みとして飲料ベンダーの増設を検討している。
【課題】 ・利用料金、付帯設備料金の値上げは検討課題ではあるが、立地条件など考えると値上げは難しいと考える。付帯設備は経年劣化が進んでおり、今後入れ替えによる費用が掛かると考える。 ・撮影の問い合わせは数件あるが実施には至っていない。SNS等で建物外観や内部を掲載する事でアピールする。6年度はHPのリニューアルもあり長浜ホールのイメージアップや閲覧もしやすくなるため、SNS等活用していく予定。

評価項目			令和5年度計画		実施状況		評価	
Ⅲ施設管理		指定管理者提案(要旨)	取組内容	目 標	年間実績	説 明	自己評価	行政評価
1 保守管理業務 (使命6)	1	日常点検業務・定期点検業務	■「指定管理者業務の基準」ならびに「同別添資料」に示された保守点検業務を着実に遺漏なく実施します。	実施	営業日	毎日開館前と閉館後に78項目の巡回チェックリストの記入を実施。	【成果】 ・利用時間の間に職員による忘れ物や汚れゴミなどのチェックをし、経年劣化や破損部分は定期点検を待たずに職員による修繕や業者の手配を実施。 ・大規模な修繕はモニタリング会議時に現場確認し横浜市所管課との連絡・報告は密に行っている。 【課題】 ・日々施設の安全確認を行っているが、経年劣化の症状が確認できない部分がある。 ・旧細菌検査室に関しては本格的な点検が必要であり歴史的建造物の保存を考える時期に来ていると考える。 ・ホール棟の躯体はコンクリートであるが内部と外壁が木製であり虫食いや雨シミなど目立ってきている。 ・26年経過している施設ではあるが、全てのトイレ・手洗いが古くなっており、何時劣化による破損が生じてもおかしくないとと思われる。 【更なる取組を期待する点】 ・旧細菌検査室及び長浜ホールは横浜市歴史的建造物であるため、外観を大きく変える工事については、関係所管課の調整の確認が必要であるため、修繕までに時間が長いかかります。 そのため、外観に工事以外の修繕から対応できるよう、日頃から気になる点をまとめ、施設運営や利用者へ不都合がないよう、日頃から確認いただくようお願いします。	
			■定期点検を各月1回、計画的に実施します。	実施	12回	休館日に実施		
	2	施設及び設備の維持保全及び修繕	■点検を通して発見された軽微な不具合箇所について迅速に対応します。	実施	随時	緊急事項は担当部署に報告、詳細はモニタリング会議時に報告。		
			■多額の費用や期間を必要とする修繕箇所や、耐用年数等により対応が必要とされる事案については横浜市所管課に報告します。	実施	随時	モニタリング会議で報告、検討。		
	3	備品等の適切な管理	■備品等は、常に良好な状態に保ち、管理します。	実施	毎日	日々の点検実施。備品等劣化や破損が生じた場合、補修や買い替えなどを行い利用者に不都合が無いよう努めている。		
			□年1回、物品管理簿の棚卸を行い、物品が適切に管理されているか確認し、市に報告します。	実施	2回	備品の在庫管理は、日々入れ替えがあった場合に記入し、半期に一度チェックをしている。年度末に再度棚卸を実施、市へ報告。		
	2 環境維持管理業務 (使命6)	1	清掃業務	■「指定管理者業務の基準」ならびに「同別添資料」に記載された環境維持管理業務を着実に遺漏なく実施します。	実施	144回		週3回(1日おき)の施設内清掃及び外回りの清掃。隔月の機械床清掃、窓清掃
				■施設の利用状況等について建物管理会社と緊密に連携を取りながら、利用者がいつでも快適に施設を利用できるよう実施します。	実施	6回		定期清掃を実施。
		2	廃棄物処理及び環境への配慮	■施設から発生する廃棄物の発生抑制に努めます。	実施	毎日		利用者用ゴミ箱の廃止。 清掃担当と職員によって細かくゴミの分別を行い利用者にはゴミの持ち帰りをお願いしている。
3		空気環境測定	■法令に従い、浮遊粉じん・二酸化炭素・一酸化炭素・温度・相対湿度・気流の空気環境の測定を年1回実施します。	実施	0回	年1回の検査		
3 保安警備業務 (使命6)			保安警備業務	■施設内の保安業務は、モニター及びセキュリティシステムを活用して行います。	実施	毎日	営業中はモニター及び目視で安全確認している。旧細菌検査室も含め16台の監視カメラとモニター監視、アルソック警備によりセンサー監視し、多目的トイレ3か所には非常呼び出しベルの設置している。	

令和5年度 横浜市 長浜ホール 指定管理者 完了確認表

4 防火・防災等 (使命6)		平常時の防災対策	■消防法に基づき、甲種防火管理者を選任した上で防災計画書を作成します。	実施	1回	甲種防火管理責任者の選任し、防災計画を作成	【成果】 ・AEDの設置と設置施設のステッカーを入口に掲示し、年1回AED実技研修の実施。 ・帰宅困難者一時避難場所に認定されているため、災害備品を横浜市から授与、倉庫にて保管している。 【課題】 ・過去に台風災害や地震災害、火災などの経験のない施設なので、職員の危機管理に不安がある。一般市民を受け入れる事が求められている施設であることを再認識が必要であり、判断基準を策定する必要がある。 ・小柴自然公園・長浜公園利用者が駐車場として来場する方が多いため、どのように公園側の駐車場へ誘導すべきかが課題である。
			■自衛組織を結成し、日常の防火・防災に努めます。	実施	2回	防災訓練(年2回)の実施	
			■横浜市防災計画に基づき、対応マニュアルをあらかじめ作成します。	実施	1回	マニュアルを毎年作成している。	
			■AEDを導入し、適切な管理及び職員への十分な操作研修を実施します(再掲)。	実施	1回	毎月業者による機械点検。年1回AED操作訓練	
5 緊急時の対応 (使命6)		大規模災害への備え	■行政機関において災害対策本部等が設置された場合は、その指示に従うとともに、行政機関と協力し災害対応に協力します。	実施	検討	帰宅困難者一時滞在施設として認定されており、備蓄品の管理を行っている。	
			■大規模災害に備え、保存食や簡易トイレなど災害備蓄品を常備し適切に維持管理します。	実施	検討	部屋付きの懐中電灯電池交換、職員携帯ライトを準備。一時滞在施設としての備蓄品の管理と倉庫の整理等を行っている。全職員が保管場所や保管品の数など把握できるようにスタッフミーティングで伝達している。	
6 その他施設管理に関する事項	1	駐車場管理業務	■長浜ホール用として持つ15台分の駐車場を安全に適切に管理します。	実施	月1回	駐車場の雑草刈りや落ち葉の掃除など1か月の中で何度か行実施。	
	2	施設の管理を行う上で必要な資格者の配置	□甲種防火管理者	配置	1名	1名配置	

評価項目			令和5年度計画		実施状況		評価			
Ⅳ収支		指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価		
1 指定管理料のみに依存しない収入構造 (様式22)	1	自主事業収入	□3期実施分の事業をすべて継続し、199万円の事業収入を目標とします。	199万円	270万円	文化芸術を身近に接して頂くために低料金設定	【成果】 ・事業収入は、270万円となり目標を達成した。利用料金については、653万円目標達成。その他収入は37万円で目標より10万円のマイナスとなった。 【課題】 ・事業収入や利用料収入は目標達成はしているが、その他収入で撮影協力費など予想より少なくベンダーの売り上げとチケットの委託販売料しかなかった。外にベンダーの設置と撮影場所のPRを行っていきたい。	【評価できる点】 ・事業収入及び利用料金については、目標金額を上回ることができました。またサービスを低下させないよう人員配置を適切に実施することが確認できます。 【更なる取組を期待する点】 ・収入の部について、自主事業収入以外が予算額を上回ることができませんでした。利用料金収入を上げるためには、施設の認知度を上げる必要があるため、広報方法を今後どのように展開するかを広報方法や費用面を総合的に判断し実施してください。		
	2	利用料金収入	□利用率向上のための施策に積極的に積極的に取り組み、489万円の利用料金収入を目標とします。	489万円	653万円	コンサート・発表会・練習利用がしやすい料金設定				
	3	その他の収入	□飲料ベンダー、撮影協力費等により、49万円の雑収入を目標とします。	49万円	37万円	ベンダー増設を予定				
2 経費削減等効率的運営の努力 (様式22)	1	人件費の抑制	■サービスを低下させずに柔軟な人員配置を推進します。	推進	毎日	1日延べ2～5名配置	【成果】 ・チラシ印刷は抑制しネット印刷により安価に印刷。金沢シーサイドFMで毎月取材の他色々な番組で紹介している。 【課題】 年間4回同じ出演者によるコンサートを開催しているが客層も固定されており年齢層も高い為徐々に集客が減っているが、今後の事業実施方法を検討する必要がある。			
	2	委託費の抑制	■事業出演料や講師料金の抑制を公演等の質の低下につながらない程度に見直します。	推進	随時	入場者数と出演料のスライド制を導入				
	3	印刷製本費の抑制	■広報手法の多様化にあわせ公演チラシの作成部数を抑制します。	抑制	随時	無駄な印刷が無いよう確認				
V 各種計画書・報告書の作成及び業務評価		業務の基準	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価		
	1	日報、月報の作成・管理	□業務日報の作成	実施	毎日	管理日誌・週報・月報の作成	【成果】 ・毎日の業務日報・巡回チェックリストの作成の実施。 ・モニタリング会議の実施。業務計画書・業務報告書の作成と内容の更新、自己評価はどれだけ努力したかを冷静に判断する。	【評価できる点】 ・業務日報や巡回リストを作成し、横浜市認定歴史的建造物として、適切に施設運営、管理をしていることが確認できます。 【更なる取組を期待する点】 ・特記すべき事項はありません。		
			□管理運営月報等をモニタリングにおいて報告	実施	12回	毎月1回				
	2	事業計画書・事業報告書の作成・管理	□業務計画書・業務報告書の作成	実施	毎月	月報に併せて準備				
			□業務計画に沿って成果が見える報告書を作成	実施	毎月	月報に併せて準備				
	3	業務評価の実施	□自己評価	実施	毎月	月報に併せて準備				

令和5年度 横浜市 長浜ホール 指定管理者 完了確認表

Ⅵ その他		選定要項	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
1 市の重要政策課題への対応 (様式23)	1	個人情報保護についての取組	■当JVの定める「個人情報 保護方針」等に基づき適切に対応します。	実施	随時	本社共通で対応	【成果】 ・個人情報保護のテキストを使用し講習を行っている。講習後簡易なテストを行い習得度を確認。個人情報保護法に關しての意識づけは浸透している。 ・例年になく猛暑が続いたため、冷暖房の切り替え作業を2週間ほどずらして実施。利用していない部屋の照明はこまめに消灯する事はスタッフ全員が認識している。 ・チラシの作成には内部での制作や印刷部数の適正化を量り費用削減に努めている。ごみの削減には利用者にもご協力をお願いし、持ち帰りを要請しており、利用者もルールを守っている。 【課題】 ・個人情報の取り扱いについては以前から気を付けて取り扱っているが、基本的に紙ベースの書類の為管理しやすいため、今後検討する必要がある。 ・最近のサイバー攻撃等から情報を安全に管理するためにセキュリティの強化やメールチェックなど細心の注意を図っている。	【評価できる点】 ・個人情報保護法や施設管理に關係した取組について、施設職員が共有し取り組んでいることが確認できます。 【更なる取組を期待する点】 ・個人情報の取扱いについては、他館でも誤交付や誤送付などが発生していることから、管理方法や取扱い方法には注意が必要です。日頃から発生しないために、どのようなルールづくりが必要が確認し、施設職員で共有してください。
	2	情報公開についての取組	■ホームページ等で業務計画、業務報告、事業・施設の状況を積極的に提供します。 ■当JV定める「情報公開規程」等に基づき適正に対応します。	実施	随時	提供		
	3	人権尊重についての取組	■職員に対して人権に関する研修を実施します。	実施	随時	適正対応		
	4	環境への配慮に関する取組	■施設の利用状況に合わせて不要な点灯や空調稼働を最大限抑止します。	実施	12回	スタッフミーティング時に実施		
			■広報手法の多様化にあわせ公演チラシの作成部数を抑制します。	実施	毎日	抑止努力		
			■広報手法の多様化にあわせ公演チラシの作成部数を抑制します。	実施	随時	デザイン自主制作、ネット印刷で費用抑制		
	5	障害者差別解消	■利用者によるごみはすべて持ち帰るよう要請します。	実施	随時	利用者用ゴミ箱の撤去。受付時にも案内		
			■貸出用車イス、多目的トイレ、筆談対応セット、天眼鏡、身障者用駐車スペース等の設備を整えます。	実施	随時	多目的トイレの案内、筆談対応セットの準備、天眼鏡、多言語対応機などの準備し、身障者用駐車スペースも確保している。		
	6	男女共同参画	■車イス利用者等にはフラットな出入口の利用を案内します。	実施	随時	障害者の配慮としては、車イスの貸し出しや階段を使用しない搬入口からの入退出のご案内。		
	7	市内中小企業優先発注についての取組	■男性・女性の別なく職員が活躍する職場づくりを行います。	実施	毎日	職員の人権研修も行い男女の差別もなく円滑に運営している		
			■原則として業務委託と物品購入は横浜市「物品・委託等有資格者名簿」に登録された企業に発注します。	実施	随時	実施		
2 その他	1	保険及び損害賠償の取扱い	■施設賠償責任、動産総合、レジャーサービス施設の各種保険に加入	実施	随時	必要とされる全ての保険には加入しており自主事業のキッズダンススクールには期間中の保険にも加入している。	【成果】 ・事故・不具合は直ぐに關係各所に連絡を実行。金沢区地域振興課や市民活動センター(ゆめかもん)との連携は順調に進んでいる。 ・金沢観光協会会員となり総会にも出席し、横浜市にぎわいスポーツ文化局文化振興課や南部公園緑地事務所との連絡・相談は頻繁に行っている。 【課題】 ・金沢区との連携がうまく取れない状況。具体的には生涯学習フェスティバル以外ホール及び諸室を利用してイベントを行うことが無く、共同で開催等の相談もない状態である。	
	2	関係法令等の順守	■業務の基準等の定めに応じた関係法令を順守する。	実施	随時	法令順守		
	3	市及び関係機関等との連絡調整	■事故や不具合時は速やかに報告し、随時共有する。	実施	随時	随時共有		
			■金沢区の民施設連絡会等に参加します。	実施	随時	金沢区役所地域振興課・金沢区民活動センターゆめかもん等と連携		
			■横浜市からの要望、要請に適切に対応します。	実施	随時	要望要請に対応		

評価	
自己評価	行政評価
【成果】 ・昨年度より利用者も増加し新たな利用者も増加してきた利用者とのコミュニケーションもよく取れていて、苦情等の問題は1件も発生していない。 ・施設の美観を維持することに努力しコンサート等で来場された方々からも高評価を得ている。他施設との共催事業もあり交流が図れており、自主事業も多数の来客がありアンケート回収率も70%を超えており内容が好評であったと確認できている。 【課題】 ・会議室と夜間利用の稼働率が低い。立地条件を理由にしたくは無いが、住宅街と工業団地の間にあるので利用可能人口はあると考える。SNSでの発信を頻繁に行う、地域のイベントに参加するなど、まだまだ知名度を上げる事はできると考える。	【評価できる点】 ・使命1(文化芸術の活動と体験の場になるに)について野口英世博士に関係するイベントを複数実施し、金沢区内の小学生へ向けた取組を実施したことを確認することができます。 ・使命2(歴史的建造物を活用し魅力を発信するとともに、文化芸術を媒介とし地域の力を結びつける)について長浜ホールが歴史的な縦門であることを発信するために野口英世博士に関連する事業を実施し、子どもも大人も地域の歴史や魅力を知るきっかけとなる事業を実施したことは、使命2の取組をしたことであり、評価できます。 ・使命3(多様な市民の活動を支援するとともに、次世代を担う文化創造の担い手を育む)について長浜ホール感謝祭やゴスベルコーラスワークショップなど様々な世代が交流し、団体同士で相互交流する事業を実施したことが確認できます。 【更なる取組を期待する点】 ・使命2(歴史的建造物の魅力を発信するとともに、文化芸術を媒介に地域の力を結びつける)について旧細菌検査室は、短期間であるものの、野口英世博士にゆかりのある施設ですが、市民の方が金沢区にあることを知らない方が多く見受けられます。金沢区や長浜ホールに足を運んだ方が新たに知ることができ、関連した事業を実施していることをホームページやSNSで積極的に周知できるよう取り組んでください。 ・使命3(様な市民の活動を支援するとともに、次世代を担う文化創造の担い手を育む)について ・コンサートを中心に事業を展開していることが確認できますが、長浜ホールの場合、幅広い世代に向けた取組がゴスベルワークショップや夏休みファミリーコンサートのみとなっています。他にも事業を展開できないか検討してください。 ・使命4(利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う)について ・事業収入については、目標を達成したことが確認できましたが、一方で、施設への交通手段が遠く、認知度が低い部分もあるため、さらなる財源確保が必要となりますので、検討してください。